

神殿での誕生日



きょうかい きかんし
教会機関誌

ローリー・フラー・ソーサ

(ほんとうにあったお話をもとに書かれました)

もうすぐリディアの誕生日です。

「リディア、お誕生日には何がほしい？」ママがたずねました。

リディアは少し考えました。新しいおもちゃかな？ 本かな？ そしてリディアは、自分がいちばんほしいものを思いつきました。

「わたし、神殿に行きたいな」とリディアは言いました。リディアは家族と一緒にいたかったのです。リディアはどこか幸せな場所に行きたかったのです。そして、神殿よりも幸せな場所なんてどこにもありません。

リディアの誕生日、ママ、パパ、リディア、リディアの妹たちはじゅんびをして、車で神殿へ出かけました。それからリディアは、友達のグラントもしょうたいしていました。

長いドライブでした。けれど大丈夫です。リディアはグラントや妹のルーシーと冗談を言い

合いました。小さな妹のエリザとエリーにお話を聞かせました。

そしてついに、神殿が見えてきました。いよいよ到着です！

「見て、天使モロナイよ！」リディアが言って、神殿を指さします。

車からおりるとすぐに、リディアは神殿の門に向かってかけ出しました。

神殿の周りには美しい木々が生えています。木には明るいオレンジ色や黄色の葉がついていました。リディアと家族が神殿の周りを歩くと、地面に落ちた葉がカサカサと音を立てました。

強い風が木々の間をふきぬけます。リディアが見ていると、葉が空中にまい上がりました。リディアは走って、地面に落ちる前に1まいの葉をつかまえました。きれいな葉っぱです。リディアはそれをポケットに入れました。

パパが神殿に書かれた文字を読みました。そ

こにはこう書かれていました。「きよきを主に ささぐ：主の宮。」

「これはね、ここではイエス様を近くに感じることができるという意味よ」とママが言いました。

リディアは平安を感じました。ここはとても幸せな場所です！

車で出発した後、リディアは葉っぱを取り出しました。家に帰ったら、これをわたしの特別な箱に入れよう。そうすれば、いつでもこのすばらしい日を思い出すことができるでしょう！ ●



イラスト：チャナン

◆「わたしに従ってきなさい」の教義と聖約 124 章参照